

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和7年6月定例会	
議案番号 議案名	議案第9号 監査委員の選任について
議員名・会派名等	市民力 湯浅文
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	※市民力は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に活かすことこそが議員の責務と考えます。非公式の場に、議会で発言してもいない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるとの考えから、以下、本会議・委員会など公の場で討論した内容を掲載いたします。 市民力の湯浅あやです。議案第9号 監査委員の選任について反対の立場から討論致します。 先般の議案上程漏れの事件が発生した事をふまえて、監査委員の仕事や市の選考方法が形骸化しているのではないかという観点で質疑をしました。質疑への答弁から約5億6千万円の議案上程漏れに対する再発防止策のチェックシートは市が独自に作成したことが分かりました。議案上程漏れの要因は監査委員事務局職員の法令・条例に対する誤った解釈及び認識不足ですが、その書類の不備を見抜くのが監査委員の本来求められている役目だと考えます。 しかし、今回のような事件が起きてもそれを真剣に反省し、再発防止に努める姿勢も見受けられぬまま、一方で市が今回監査委員を推薦するにあたり「行政運営全般に関しても豊富な知識と優れた識見を有している」「監査委員として十分その力量を発揮していただけるものと思料する」等の良い面のみの記載に終始していることには、強い違和感と今後の類似案件再発の懸念を覚えています。 今回の上程漏れを見抜けなかったミスに対する改善策を委員自ら提出していないことは監査機能が形骸化していると言わざるを得ません。にもかかわらずいつも通りにその委員を選考し推薦した市の判断基準も納得いくものではありませんでした。 以上の理由から反対といたします。 尚、本議案に推薦された当事者ご本人の人格等については一切否定するものではございませんし、今回推薦された事自体はご本人を責める意図は毛頭ございません事を申し添えておきます。 皆様の満場の御賛同をよろしくお願いいたします。御清聴ありがとう

	ございました。
--	---------